



急成長するECビジネス。配送拠点（デポ）は今日もフル稼働。荷物を予定通りに届けるためには、あなたの仕分け作業が欠かせません。激しく変わる倉庫内の状況に対応し、スムーズに配達へつなげましょう。

《デポ》は、トランプの大富豪のように、他の誰よりも早く手札を無くすことを目指すカードゲームです。

内容物

カード 80枚

オモテ		...		1 ... 13枚	5 ... 10枚
				2 ... 12枚	6 ... 9枚
				3 ... 11枚	7 ... 8枚
				4 ... 10枚	8 ... 7枚
ウラ					

ルール説明書 1部

ゲームの準備

- ① プレイ人数に応じて以下の枚数のカードを表面が見えないよう手札として各プレイヤーに配ります。

3人	4人	5人
9枚ずつ	9枚ずつ	8枚ずつ

- ② 残ったカードを束ねて山札とし、テーブル中央に置きます。山札の近くを捨て札置き場とします。

- ③ プレイ人数に応じて以下の枚数のカードを山札から引き、山札のそばに数値が昇順となるよう横に並べます。

3人	4人	5人
3枚	4枚	4枚

数値が同じカードは縦に並べます。

(※上方向にずらしつつ一部を重ねてください)

これらの並んだカードを〈倉庫〉と呼びます。

倉庫もテーブル中央に配置してください。

- ④ 最初にカードを出すスタートプレイヤーを適当な方法で決めます。



4人プレイ時のセットアップ例

ゲームの進行

ゲームは複数のラウンドにわたって進行します。(※1回のラウンドでゲームが終了することもあります) 各ラウンドにおいて、スタートプレイヤーから始めて、各プレイヤーは時計回りに手番を行います。手番において、各プレイヤーは、【①カードのプレイ】または【②パス】のいずれかを行います。1人を除いたプレイヤー全員が連続で【②パス】を行うと次のラウンドに移ります。

① カードのプレイ

手札からカードを1枚または複数枚出して自分の手元に表向きで置きます。カードを複数枚出す場合は、それらの組み合わせ全てが【同じ数値】または【連番】でなければいけません。(※数値の【1】と【8】は連続していないことに注意してください)

カードを一度に何枚まで出せるかは、倉庫におけるカードの並びによって決まります。
【同じ数値】で出す場合の最大枚数は、倉庫において並んでいる数値が同じカードの枚数となります。
【連番】で出す場合の最大枚数は、倉庫において並んでいる連番となるカードの枚数となります。



例：倉庫には数値【5】が2枚あるので、手番プレイヤーは【同じ数値】としてカードを2枚出すことができます。また、数値【4】、【5】、【6】が並んでいるので、【連番】としてカードを2枚または3枚出すことができます。

手番プレイヤーは、前のプレイヤーが出したものよりも強いカード(の組み合わせ)を出さなければいけません。カードの強さについて、1枚のみであれば、数値の大きい方が強いカードとなります。複数枚のカードの組み合わせであれば、強さは下記のルールに従います。

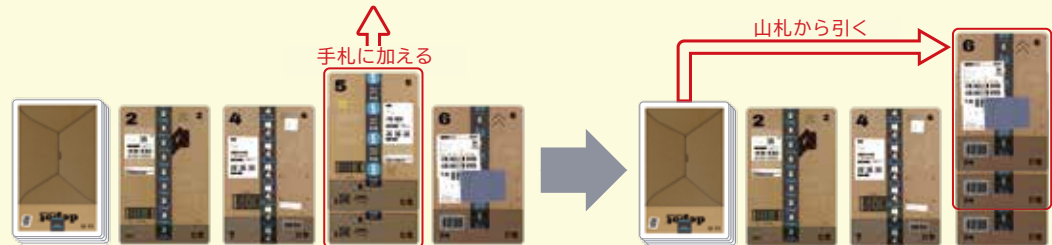
カードの組み合わせの強さ

- ルール①：各カードの数値に関わらず、枚数が多い方が強い組み合わせとなります
- ルール②：枚数が同じであれば、数値の合計が大きい方が強い組み合わせとなります
- ルール③：一方が【同じ数値】で他方が【連番】でも、ルール①、②に従い双方の強さを比較します
(※例えば、前のプレイヤーが【1】、【2】の組み合わせを出した後に、次のプレイヤーは【2】、【2】の組み合わせを出せます)

カードを手元に出すたびに、前のプレイヤーが出したカードは捨て札置き場に捨ててください。
スタートプレイヤーは最初の手番で【①カードのプレイ】を選ばないといけません。
スタートプレイヤーは最初の手番で好きなカードを手札から出せます。(※組み合わせで出しても構いません)

② パス

手札からカードを出せない、または出したくない場合は、パスを行います。まず、倉庫から1つだけ数値を選び、その数値のカード全てを取り、手札に加えます。次に、手札から1枚だけカードを出して倉庫に並べることができます。(※出さなくても構いません) 手札から出すカードは、倉庫から手札に加えたカードと必ず異なる数値にしてください。最後に、倉庫のカード枚数が元に戻るまで、山札からカードを引き、倉庫に並べます。(※倉庫に新しいカードを並べる際には、【ゲームの準備③】と同様に数値が昇順となるようにしてください)



例：倉庫には、数値が【2】、【4】、【5】、【5】、【6】と並んでいます。あなたは数値【5】のカード2枚を手札に加えました。手札からカードを出さないで、山札から引くカードの枚数は2枚となります。カードを2枚引いたところ、それらは両方とも数値【6】のカードでした。倉庫には、数値が【2】、【4】、【6】、【6】、【6】と並んだので、次の手番プレイヤーは【同じ数値】としてカードを2枚または3枚出すことができます。一方、【連番】としてカードを出すことはできなくなりました。

山札が無くなったら、捨て札をよく混ぜて新しい山札を作ってください。
現在のラウンドが終了しない限り、パスを行ったプレイヤーにも手番が一周して戻ってきます。

ラウンドの終了(次ラウンドの準備)

1人のプレイヤーが[①カードのプレイ]を行った後に、他のプレイヤーが全員連続して[②パス]を行うと、ラウンドは終了します。

今のラウンドが終了したら、以下の手順で、次のラウンドの準備を行います。

まず、プレイヤーが出したカードを全て捨てます。

次に、山札からカードを1枚引き、[ゲームの準備③]と同様に倉庫に並べます。

(※結果として、倉庫のカード枚数は1枚増えた状態となります)

準備ができれば、次のラウンドとして新たなスタートプレイヤーから手番を行います。

新たなスタートプレイヤーは、今のラウンドで[①カードのプレイ]を最後に行ったプレイヤーになります。

ゲームの終了

ラウンド中にいずれかのプレイヤーの手札が無くなったらゲームは終了します。

手札を無くしたプレイヤーが勝者です。

特別ルール

このゲームを長く遊びたい時は、3ゲーム制の特別ルールを選べます。

特別ルールでは、他の誰よりも失点が少ないことを目指します。

以下のように、[ゲームの終了]におけるルールの一部が変わります。

まず、今のゲームが終了したら、残った手札の枚数に応じて順位を決めます。枚数が少ないほど高順位です。

(※手札を0枚にしたプレイヤーが1位です)

手札枚数が同じプレイヤーがいる場合は、手札の数値の合計が大きい方を高順位としてください。

(※数値の合計も同じ場合は、適当な方法で順位を決めてください)

次に、今のゲームで最も順位が低いプレイヤーは、倉庫にある最も数値の大きいカードを1枚取ります。

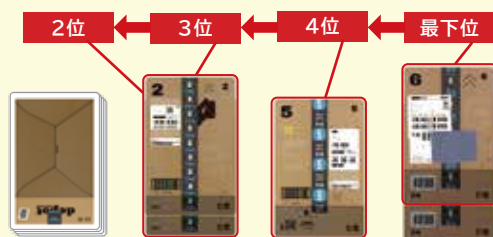
その次に、順位が2番目に低いプレイヤーは、倉庫にある2番目に数値の大きいカードを1枚取ります。

このように順位が上がるにつれ小さい数値のカードを取ることを、順位が2位のプレイヤーまで続けます。

(※1位のプレイヤーはカードを取りません)

より小さい数値のカードが倉庫に無い場合は、順位が1つ低いプレイヤーと同じカードを取ってください。

各プレイヤーは、取ったカードを手元に横向きにして置きます。**置いたカードの数値が失点となります。**



例：ゲームは5人プレイです。倉庫に数値が[2],[2],[5],[6],[6]と並んだ状態で今のゲームが終わりました。最下位のプレイヤーは、倉庫から数値[6]のカードを1枚取ります。4位のプレイヤーは、数値[5]のカードを1枚取ります。3位のプレイヤーは、数値[2]のカードを1枚取ります。2位のプレイヤーは、(より数値の小さいカードが無いので)3位のプレイヤーと同じく数値[2]のカードを1枚取ります。1位のプレイヤーはカードを取りません。

最後に、失点を示すカードを除いた全てのカードを混ぜ直し、次の[ゲームの準備]を行います。

(※次のゲームは、一部のカードが減らされた状態で行われます)

次のゲームの最初のスタートプレイヤーは、今のゲームでの順位が最も低かったプレイヤーとなります。

3回のゲームが終了した後に、最も失点の累計が低いプレイヤーが勝者です。

累計が同じプレイヤーが複数いる場合は、最終ゲームでの順位が高い方が勝者です。

ルールの細則

[①カードのプレイ]

- ・手番プレイヤーは、前のプレイヤーが出したものと同じ強さのカード(の組み合わせ)を出してはいけません。
- ・手番プレイヤーは、前のプレイヤーがカードを1枚出すのに対して、複数枚のカードを必ず出せます。
- ・この項に記載のルールに従う限り、倉庫にないカードの組み合わせを出しても構いません。
(※例えば、倉庫に数値[1],[2]のカードがなくても、他の数値で連番となるカードが2枚並んでいれば、【連番】として[1],[2]の組み合わせを出しても構いません)
- ・出せるカードの組み合わせは【同じ数値】または【連番】となる一組のみです。複数組は同時に出せません。
(※例えば、手札に数値[1],[1],[2],[2]のカードがあっても、【同じ数値】の組み合わせとして[1],[1]と[2],[2]の二組を同時に出すことはできません。同様に、【連番】の組み合わせとして[1],[2]と[1],[2]の二組を同時に出すこともできません)

[②パス]

- ・山札からカードを引いて手札に加えてはいけません。
- ・手札に加えたカードが1枚で、手札からカードを倉庫へ出したならば、山札からはカードを引きません。
- ・山札から倉庫へカードを出した後に、手札から倉庫へカードを出してはいけません。
(※先に手札からカードを出してください)

[特別ルール]

- ・3回のゲームを同じカード構成で行いたい場合は、次の[ゲームの準備]にて、失点を示すカードを含めた全てのカードを混ぜ直して構いません。カードの代わりに失点を示すチップ等を別途準備してください。

このたびはお買い上げくださり、ありがとうございました。ご質問やご感想はinfo@fudacoma.jpまでお願いします。

ゲームデザイン: 沢口游祐 アートワーク: TANSAN

テストプレイヤー: 七盤のハムさん、ゆきこ、ヒロシ、みやもと、Kotone、ゾンネうすぎ、ゾンネみよし、ぴよらぶたこ、植民地戦争+α、リアブノフ、くりた、有明亭・野口、あかさたな、符亀、エル、なんでもつくるレイ、ななくさ、クマさん、やぬきけんじ、兄者、ノア、リカチ、名古屋テストプレイ会の皆さん